

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.07.10 - 2010.07.16 14号

2010年07月16日付け 長江日報より

武漢国際長江横断大会開幕

8:45 (競技部門)選手達が長江を横断開始

9:30 (一般参加部門)2000人以上の市民が長江の流れに乗って水泳開始

8:00～11:00 試合を観覧しながらゲームに参加

最も観覧しやすいポイントは武昌漢陽門、漢陽南岸嘴、漢口龍王廟、武昌江灘沿線。

今年から復活した長江横断チャレンジ大会は大きな見所であった。計 51 名の勇姿が長江横断チャレンジ大会に参加した。そのうち、2006 年のチャレンジ大会で男女チャンピオンの王巍氏と袁麗丹氏、イギリス海峡を横断したことがあり、また黄河のチャレンジ大会にて第 2 位をおさめたことがある河南省の女性選手劉克氏、その他に海外の選手 2 名も参加した。8 時 45 分、女子組 17 名選手はスタートし、女子のチャレンジが終了後、男子組 34 名がスタートをした。

気象・水文観測情報によれば、16 日の長江の水位は 26.55mに達し、平均水流速度は 2m/秒超え、水温は 26 度、風力は 2-3 級で、難度は過去最高である。52 年もの長江横断歴を持つ武漢市水泳協会常務副秘書長宋世安氏の説明によると、「武昌漢陽門から漢陽南岸嘴までのコースはたった 1800mの距離だが、難度は非常に高い。以前、20 人が試して泳いでみたが、2 名しかゴールに到達しなかった。長江の中で、どの辺の流れが速いか、どこに渦巻きあるのか、どの辺が穏やかか、選手自身にしかわからず、少しミスがあっただけで、コースアウトし、船に引き上げられることになってしまう。

2010年07月16日付け 長江日報より

日本丸紅株式会社が湖の治水にアドバイス

昨日、世界 500 強の日本丸紅株式会社の関山護副社長が訪問団を率いて、武漢で環境保全交流会を開催し、武漢市の湖の治水についてアドバイスをした。

丸紅株式会社は中国と貿易を始めた最初の日本企業であり、環境保全分野において、豊富な経験と資源を持っている。丸紅のNACオゾン処理技術はオゾンを利用し、水の汚染物を気化するとともに、また微生物を殺し、汚染排除と浄水の役割がある。当技術は高濃度の工業廃水、養殖業廃水及び生活污水を処理することができる。また日本永田ダムなどで8年間以上の実績がある。当技術は来月雲南省滇池で利用される予定である。

国営企業の重要な事項について行政の幹部と一緒に決定

市政府は最高の品質に対する栄誉を讃えることを目的に「市長品質賞」を創設した。昨日開催された品質大会で、当該賞の初めての受賞企業となる武漢鉄鋼株式会社と東風本田自動車有限会社の2社の責任者は阮成發市長より優勝カップと50万元の賞金を受け取った。

市長品質賞は毎年一回表彰される。当該賞のレベルを維持するために、毎年の受賞企業や団体を2社以内に制限している。当該賞の受賞資格があるのは、武漢市で登録し、法人資格を持っている企業や団体である。受賞企業や団体は必ず「広範囲における社会知名度と影響力」「実効的な管理方法」「品質管理水準とイノベーション能力が国内の同業界でトップクラスに入る」「武漢市の経済発展に対して著しい貢献があり、品質、経済や社会面においても功績がある」などの条件を満たさなければならない。

昨日、会議で2009年度の湖北省や武漢市のブランド製造企業、全国や全市の優秀な品質管理グループ、品質振興関係部門及び武漢市品質貢献賞の個人賞などを発表した。

阮成發市長は次のように発言した。科学の発展の視点に立ち、武漢市の競争力を高め、仕事の質の向上を図り、武漢商品の影響力を高めることが必要である。また企業が主体性を発揮し、品質強化に対する意識、ブランド力向上に対する意識、イノベーションに対する意識、誠実さに対する意識、長く事業を続ける意識を強化させ、武漢商品の品質を全体的に向上させることの必要性も唱えた。さらに、市長は各関連部門もサービスを提供し、保証意識を強化し、監督管理に力を入れ、違法な偽物に対する管理を強化し、品質についての仕事をより一段向上させることを求めた。